



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年11月8日

上場会社名 株式会社 ファルコSDホールディングス 上場取引所 東・大
 コード番号 4671 URL <http://www.falco-sd.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平崎 健治郎
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役戦略業務室長 (氏名) 安田 忠史 (TEL) 075(257)8585
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月12日 配当支払開始予定日 平成24年12月5日
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績（平成24年4月1日～平成24年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	30,924	△0.5	1,083	△10.4	1,026	△12.7	449	△13.5
24年3月期第2四半期	31,078	7.2	1,209	39.6	1,175	44.7	519	28.8

（注）包括利益 25年3月期第2四半期 277百万円（△25.7%） 24年3月期第2四半期 373百万円（27.7%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	36.65	—
24年3月期第2四半期	40.93	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	35,783	13,141	36.7
24年3月期	36,172	13,143	36.3

（参考）自己資本 25年3月期第2四半期 13,141百万円 24年3月期 13,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	11.00	—	11.00	22.00
25年3月期	—	13.00	—	—	—
25年3月期（予想）	—	—	—	11.00	24.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成25年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当11円00銭 記念配当2円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	62,000	1.9	2,200	1.5	2,100	0.6	1,000	46.0	80.83

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期2Q	12,980,177株	24年3月期	12,980,177株
25年3月期2Q	757,684株	24年3月期	607,764株
25年3月期2Q	12,273,253株	24年3月期2Q	12,703,054株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興を背景に国内景気は緩やかな回復の兆しが見られるものの、長期化する円高の影響に加え、欧州の金融不安や中国の経済成長の鈍化等を背景として世界経済の減速感が強まっていることから、依然として先行き不透明な状況で推移しております。

当社を取り巻く受託臨床検査市場及び調剤薬局市場におきましては、診療報酬及び調剤報酬の改定や薬価改定の影響に加え、同業社間の競争が激化しており、厳しい市場環境が続いております。また、ドラッグストア市場におきましては、個人消費は回復基調にあるものの、消費者の低価格志向や節約志向は依然として根強く、同業社間の出店競争や価格競争もより一層厳しい状況となっております。

当社グループでは、このような経営環境のもと、グループ内の事業再編を進め、コスト構造の見直しを図るとともに、各事業において収益力の向上に取り組んでおります。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は30,924百万円（前年同期比0.5%減）、営業利益は1,083百万円（同10.4%減）、経常利益は1,026百万円（同12.7%減）、四半期純利益は449百万円（同13.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① 臨床検査事業

臨床検査事業につきましては、検査項目の拡販及び新規顧客の獲得に努めるとともに、医療情報システムの販売強化などにより周辺事業の売上の拡大を図り、収益力の向上に取り組んでまいりました。

このような取り組みの結果、臨床検査の受託検体数の増加や医療情報システムの売上の増加により、臨床検査事業の売上高は14,773百万円（前年同期比2.5%増）、営業利益は815百万円（同23.9%増）となりました。

② 調剤薬局事業

調剤薬局事業につきましては、当第2四半期連結累計期間において、関西を中心として西日本エリアに調剤薬局を展開する㈱ファルコクリニカルプランとその持株会社である㈱ファルコファーマシーズを統合し、調剤薬局事業の経営資源の一体化と業務効率化を推進するとともに、既存店の来客者を増やす取り組みを行ってまいりました。また、当第2四半期連結累計期間において、4店舗を開局、2店舗を閉局したことにより、当第2四半期連結会計期間末における当社グループが運営する調剤薬局等店舗総数は118店舗（フランチャイズ店6店舗、ドラッグストア併設店13店舗含む）となりました。

このような取り組みの結果、処方箋枚数の増加により調剤薬局事業の売上高は8,595百万円（前年同期比2.0%増）となりましたが、薬価及び調剤報酬の改定の影響により営業利益は282百万円（同50.3%減）となりました。

③ ドラッグ事業

ドラッグ事業につきましては、引き続き、売場再編成・品揃えの見直しとともに、販売関連経費の削減、店舗別の収益管理の徹底などコスト構造の見直しに取り組み、収益力及び競争力の向上に努めております。

しかしながら、既存店の来客数の減少などにより、ドラッグ事業の売上高は7,561百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は23百万円（同43.8%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、主に有形固定資産の減少により、前連結会計年度末と比べ388百万円減少し、35,783百万円となりました。

負債は、主に借入金の減少により、前連結会計年度末と比べ387百万円減少し、22,641百万円となりました。

純資産は、四半期純利益の計上により利益剰余金が増加したものの、その他有価証券評価差額金の変動や自己株式の増加により、前連結会計年度末と比べ1百万円減少し、13,141百万円となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ168百万円増加し、5,584百万円となりました。

営業活動の結果得られた資金は2,103百万円（前年同四半期は1,405百万円）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益965百万円、減価償却費781百万円、仕入債務の増加額492百万円及び法人税等の支払額480百万円によるものであります。

投資活動の結果使用した資金は690百万円（前年同四半期は846百万円）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出346百万円及び投資有価証券の取得による支出342百万円によるものであります。

財務活動の結果使用した資金は1,245百万円（前年同四半期は1,046百万円）となりました。これは主に、短期借入金の純減少額550百万円、長期借入金の純減少額192百万円及びファイナンス・リース債務の返済による支出223百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年5月11日の「平成24年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び一部の連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,496	5,633
受取手形及び売掛金	6,499	6,442
商品及び製品	2,628	2,752
仕掛品	217	68
原材料及び貯蔵品	390	384
その他	1,104	1,135
貸倒引当金	△71	△71
流動資産合計	16,266	16,345
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	10,885	11,194
減価償却累計額	△5,463	△5,891
建物及び構築物(純額)	5,422	5,303
土地	4,698	4,688
リース資産	2,887	2,750
減価償却累計額	△1,653	△1,704
リース資産(純額)	1,234	1,045
建設仮勘定	279	377
その他	8,278	8,193
減価償却累計額	△7,138	△7,220
その他(純額)	1,140	973
有形固定資産合計	12,774	12,388
無形固定資産		
のれん	1,097	1,017
その他	411	351
無形固定資産合計	1,509	1,369
投資その他の資産		
その他	5,699	5,754
貸倒引当金	△78	△73
投資その他の資産合計	5,621	5,680
固定資産合計	19,905	19,438
資産合計	36,172	35,783

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,784	7,175
短期借入金	3,450	2,900
未払法人税等	600	522
賞与引当金	581	640
その他の引当金	106	99
その他	4,026	3,471
流動負債合計	15,548	14,808
固定負債		
長期借入金	3,817	4,257
退職給付引当金	1,513	1,544
役員退職慰労引当金	1,005	1,018
資産除去債務	215	218
その他	928	794
固定負債合計	7,480	7,832
負債合計	23,029	22,641
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,371	3,371
資本剰余金	4,037	4,037
利益剰余金	6,298	6,611
自己株式	△503	△646
株主資本合計	13,203	13,374
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△60	△232
その他の包括利益累計額合計	△60	△232
純資産合計	13,143	13,141
負債純資産合計	36,172	35,783

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	31,078	30,924
売上原価	22,387	22,482
売上総利益	8,691	8,441
販売費及び一般管理費	7,482	7,357
営業利益	1,209	1,083
営業外収益		
受取配当金	23	27
貸倒引当金戻入額	26	4
その他	66	51
営業外収益合計	117	84
営業外費用		
支払利息	66	61
支払手数料	37	48
その他	47	31
営業外費用合計	151	141
経常利益	1,175	1,026
特別利益		
負ののれん発生益	96	—
営業権譲渡益	—	10
その他	3	0
特別利益合計	99	11
特別損失		
投資有価証券評価損	65	63
退職給付費用	12	—
その他	60	8
特別損失合計	137	71
税金等調整前四半期純利益	1,137	965
法人税、住民税及び事業税	641	521
法人税等調整額	△24	△4
法人税等合計	617	516
少数株主損益調整前四半期純利益	519	449
四半期純利益	519	449

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	519	449
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△146	△171
その他の包括利益合計	△146	△171
四半期包括利益	373	277
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	277
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,137	965
減価償却費	914	781
のれん償却額	90	79
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△30	△4
退職給付引当金の増減額(△は減少)	49	43
賞与引当金の増減額(△は減少)	10	60
受取利息及び受取配当金	△30	△33
支払利息	66	61
投資有価証券評価損益(△は益)	65	63
負ののれん発生益	△96	—
売上債権の増減額(△は増加)	223	35
たな卸資産の増減額(△は増加)	19	31
仕入債務の増減額(△は減少)	343	492
その他	△601	21
小計	2,161	2,599
利息及び配当金の受取額	28	28
利息の支払額	△62	△43
法人税等の支払額	△722	△480
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,405	2,103
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△793	△346
無形固定資産の取得による支出	△49	△38
投資有価証券の取得による支出	△307	△342
保険積立金の解約による収入	256	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	55	—
その他	△8	37
投資活動によるキャッシュ・フロー	△846	△690
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△330	△550
長期借入れによる収入	1,000	1,050
長期借入金の返済による支出	△984	△1,242
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△333	△223
配当金の支払額	△154	△135
自己株式の取得による支出	△243	△143
その他	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,046	△1,245
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△487	168
現金及び現金同等物の期首残高	5,395	5,416
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,908	5,584

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,417	8,399	8,261	31,078	—	31,078
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1	30	—	31	△31	—
計	14,418	8,429	8,261	31,110	△31	31,078
セグメント利益	657	567	16	1,242	△33	1,209

(注) 1. セグメント利益の調整額△33百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△647百万円及び内部取引の消去に伴う調整額614百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	臨床検査 事業	調剤薬局 事業	ドラッグ 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	14,769	8,594	7,561	30,924	—	30,924
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	0	0	5	△5	—
計	14,773	8,595	7,561	30,929	△5	30,924
セグメント利益	815	282	23	1,121	△38	1,083

(注) 1. セグメント利益の調整額△38百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△677百万円及び内部取引の消去に伴う調整額639百万円が含まれております。全社費用は、主に人事・経理部門等の管理費用及び建物の減価償却費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(営業費用の配分方法の変更)

各報告セグメントの営業費用の負担を明確化し、業績管理をより適切に行うため、第1四半期連結会計期間より、ドラッグストア(調剤薬局併設店)の営業費用の配分方法を変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第2四半期連結累計期間の「調剤薬局事業」のセグメント利益が30百万円減少し、「ドラッグ事業」のセグメント利益が30百万円増加しております。